

優しさを支えにして：

出石中学校二年 小巻純子

台風二十三号により、我が家は大きな被害を受けました。土が一階の半分まで押し寄せ、台所は冷蔵庫や食器棚が倒れていました。リビングはソファがひっくり返し、テレビやパソコンは泥まみれでした。

片付けが始まったのは、洪水になった日から二日後のことでした。たくさんのおラコンテイアの方々や、父の会社の方が十人近く手伝

いに来てくださいました。泥をスコップで取り、一輪車に乗せて一か所に集めました。私には家の中に散らばった食器や冷蔵庫の中のものを外に運び出しました。作業を始めた頃は、いつ終わるんやろ！と思うましたが、ボランティアの方々と友達、親せきの人達のお陰で、片付けは意外に早く終わりました。本当に感謝しています。お金をもらえなかったけど、もなくて、自分のためになる事は一つもない。それなのに遠くから「真バレを持って手伝い

に来て下さったボランティアのみなさんを、
私は心から尊敬します。私も助け合える人にな
りたいと思います。

二〇〇五年の三月、私の家は元の姿に戻り
ました。近くの祖母の家も七月下旬に建てか
えました。私は引越して作業を手伝っている
時、以前の祖母の家の玄関だった所に立って
みました。以前とは全然違う光景に悲しくな
り、今にも涙が溢れそうになりました。でも、
涙を元気に変えて、頑張ろうと思いました。

台風の被害に遭って学んだ事はたくさんあ
ります。一番は「人の優しさ」です。これが
あったから、私は今、がんばり抜くことが
できるのです。だから私も「人の優しさ」が
欲しい、誰かに「がんばれる力」を提供した
いと思っています。その為にはまだまだ努力
が必要です。でも私はがんばります。あの時
にももらった優しさを支えにして……。